

# 小児看護学概論

- 家族システム理論と円環パターン
- 家族の危機
- ABCXモデル
- きょうだい支援

2025/5/7  
住吉智子



森がないと 生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

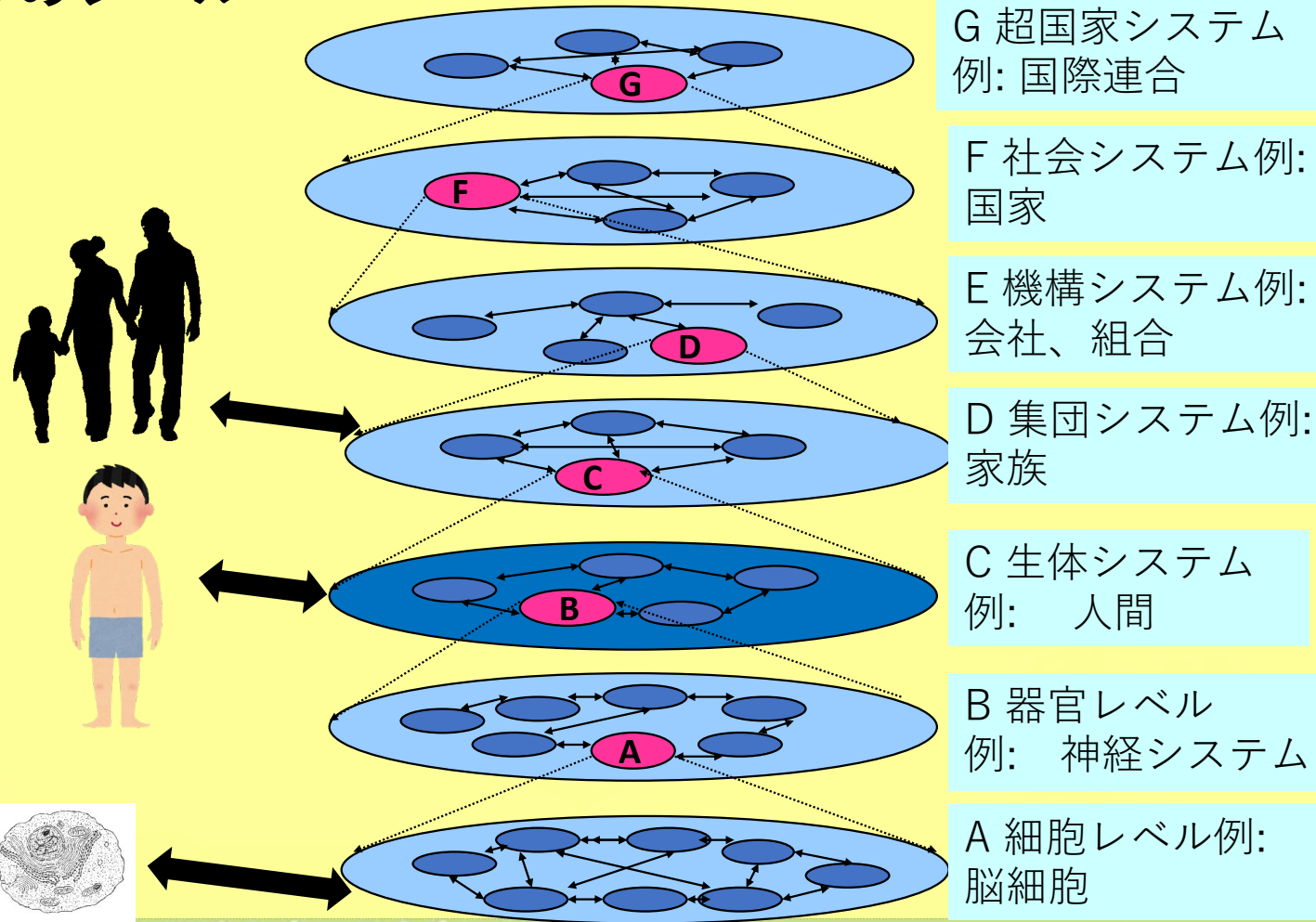
# 家族危機ときょうだい支援



森がないと 生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

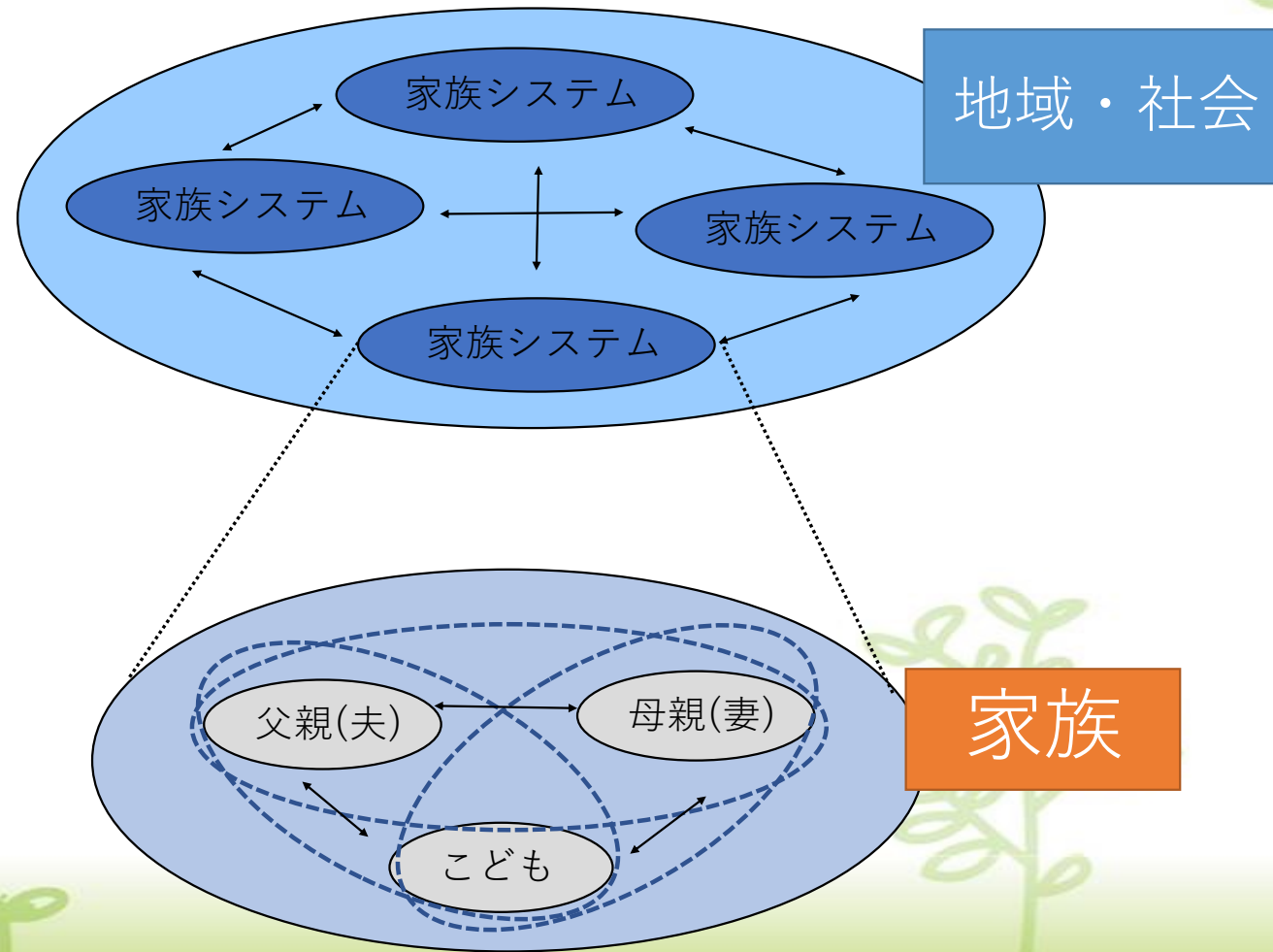
# システム の考え方

## 7つのレベル



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

# 家族システム論



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

# 家族看護 看護の対象は？

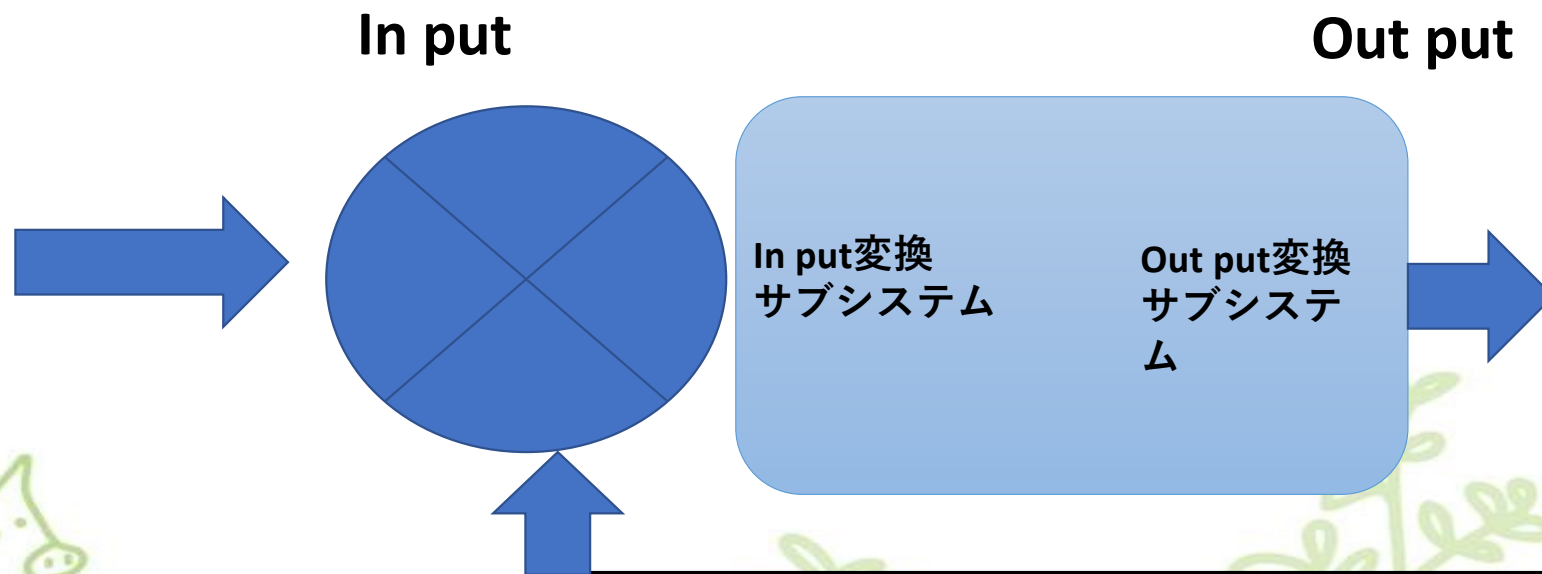
- 家族をひとつのシステム(まとまり)としてみなして、家族を対象として援助します。
- 家族成員1人1人を対象とするのではなく、メンバー間の「関係性(相互作用)」に介入します。



森がないと 生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

# システムとしての人間・家族

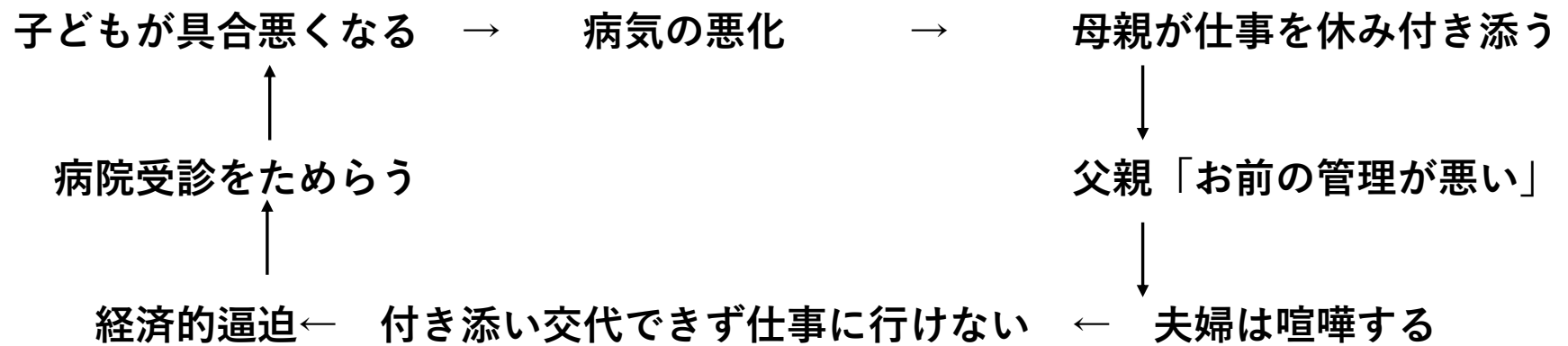
## 円環的(Feedback)パターン



森がないと 生きていけないよ。ふたも、ヒトも。



結果 = 原因 → 結果 = 原因  
↑ ↓  
原因 = 結果 ← 原因 = 結果




森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

原因

果

(新しい円環的パターン)

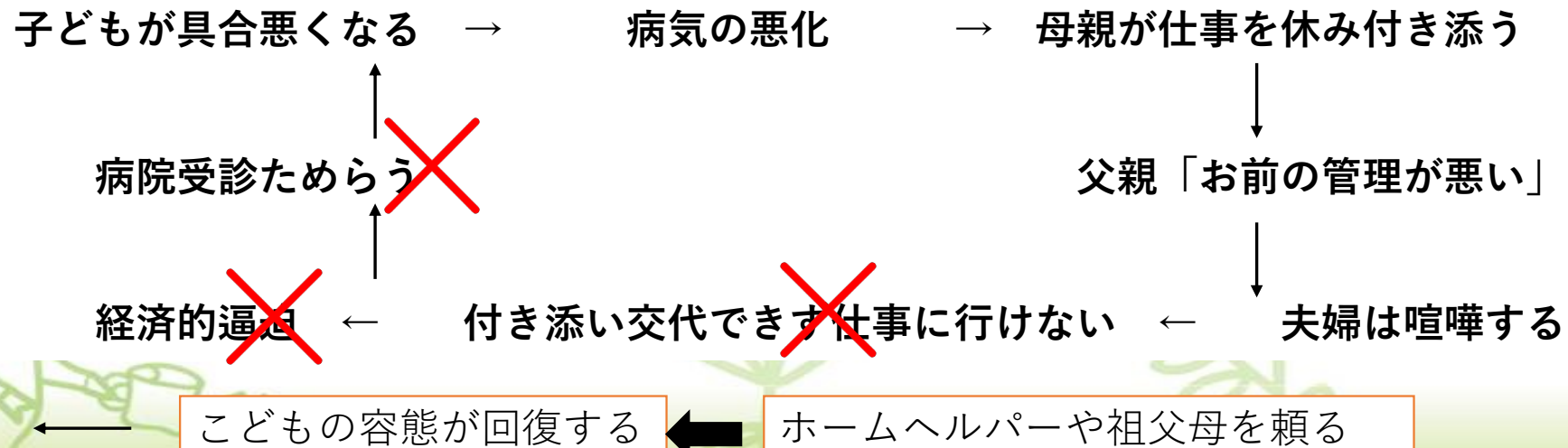


元の円環的パターンには、戻らない



結果 = 原因 → 結果 = 原因

↓  
~~原因 = 結果~~



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

# 家族看護 看護の対象は？

- 家族をひとつのシステム(まとまり)としてみなして、家族を対象として援助します。
- 家族成員1人1人を対象とするのではなく、メンバー間の「関係性(相互作用)」に介入します。



森がないと 生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

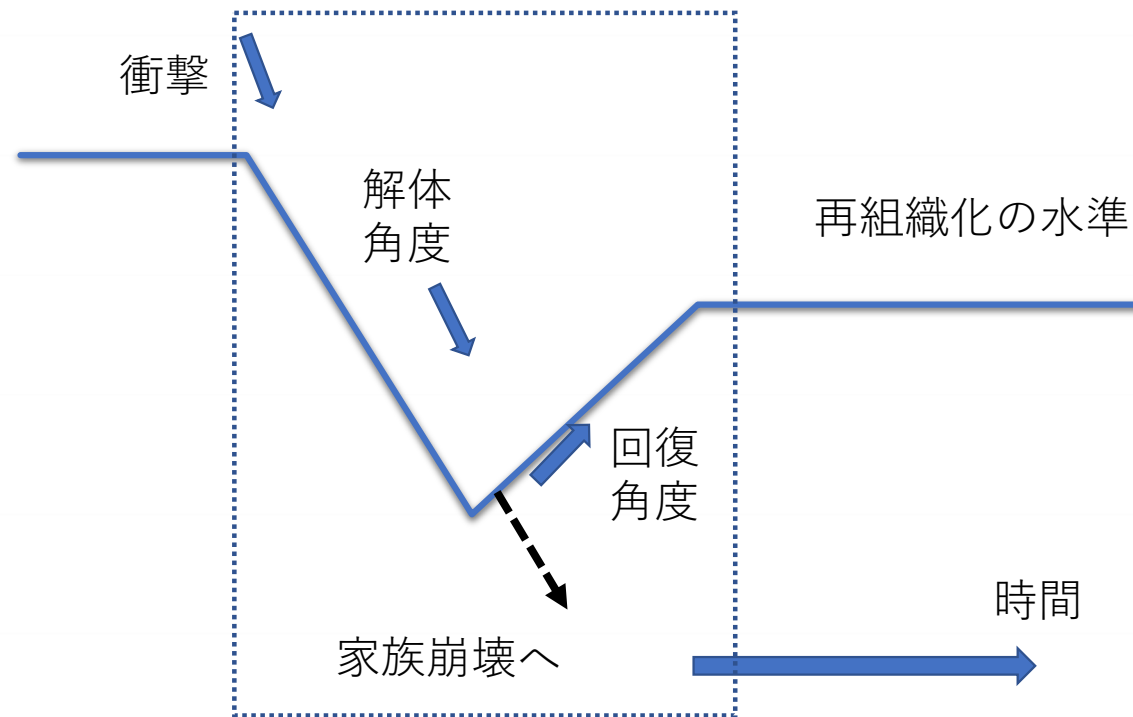
# 家族の危機はなぜ起こるか

1. 未体験な( )の大きさ
2. 衝撃を除去・改善する家族のセルフケア不足
3. 衝撃を除去・改善するための( )の不足



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

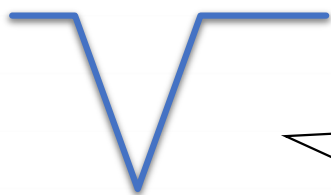
# 家族の危機の起こり方



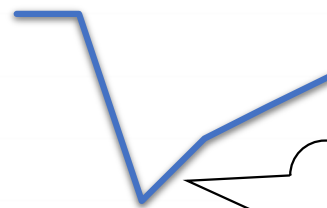
ジェットコースターモデル 修正版(石原)

森がないと 生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

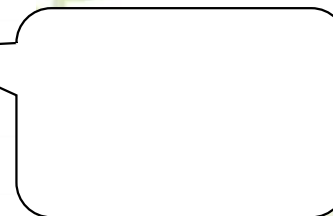
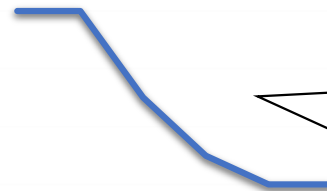
# 順応の形



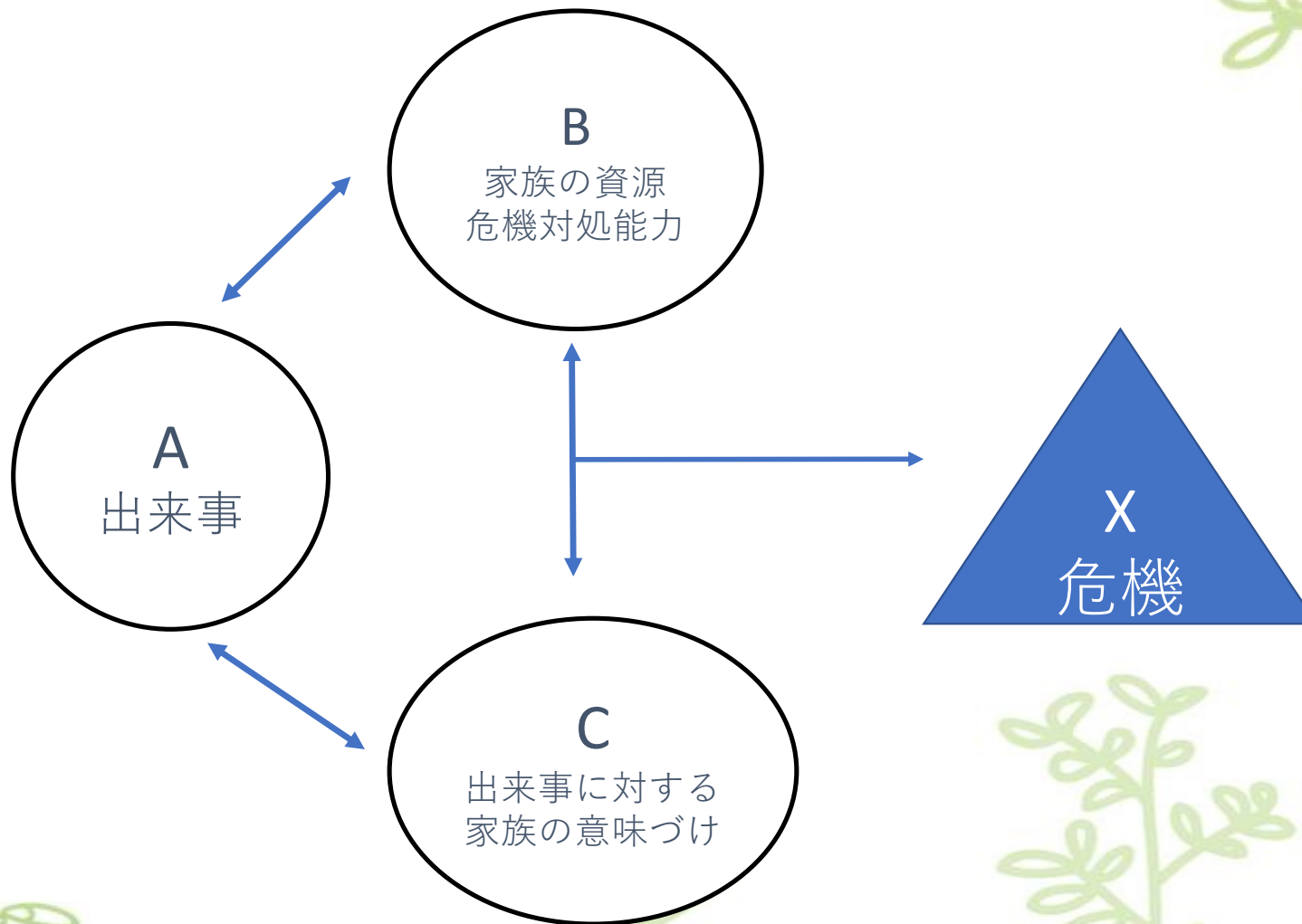
良好、かつ  
早い順応



良好、かつ  
緩慢



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。



Reuben Hillのストレス対処理論

森がないと 生きていけないよ。ふたも、ヒトも。



## 家族ストレスの対処法と代表的な理論モデル

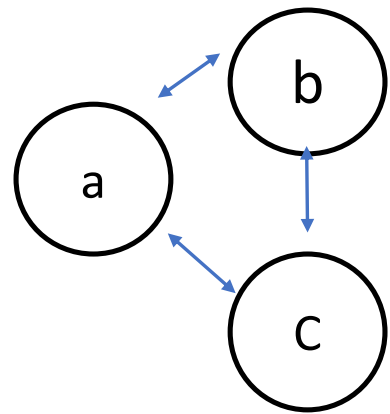
### ABCXモデル

A要因(ストレス源となる出来事)は、B要因(家族危機対応資源)と相互作用し、またC要因(家族が出来事に対して持つ意味づけ)と相互作用してX結果(家族危機)が生じるという危機発生過程の構造をいう。

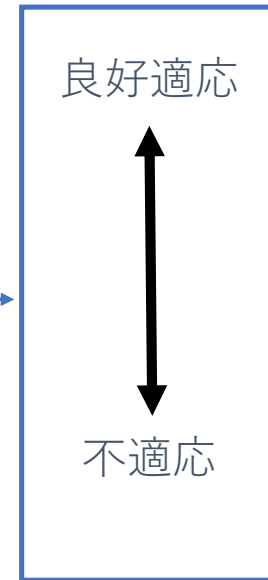
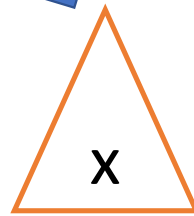
このモデルの特徴は、何らかの出来事が直接に家族ストレスや危機状態をもたらすのではなく、家族資源と、状況に対する意味づけという2つの媒介変数との関連によって、危機が起こることを示している。

# 家族適応の二重ABCモデル

【後危機段階】



【前危機段階】



時間

$$X + aA + bB$$

# 家族のアセスメントとは

1. 家族にとっての**ストレス源**を明らかにする。
  2. 家族のストレスに対処する家族の**能力**を明らかにする。
- 家族看護モデルに基づいて、情報を収集し、分析し、解釈をすることから、家族のニーズが明らかになり、援助の目標が設定できる。そして具体的援助を計画し、実施することへと発展する。

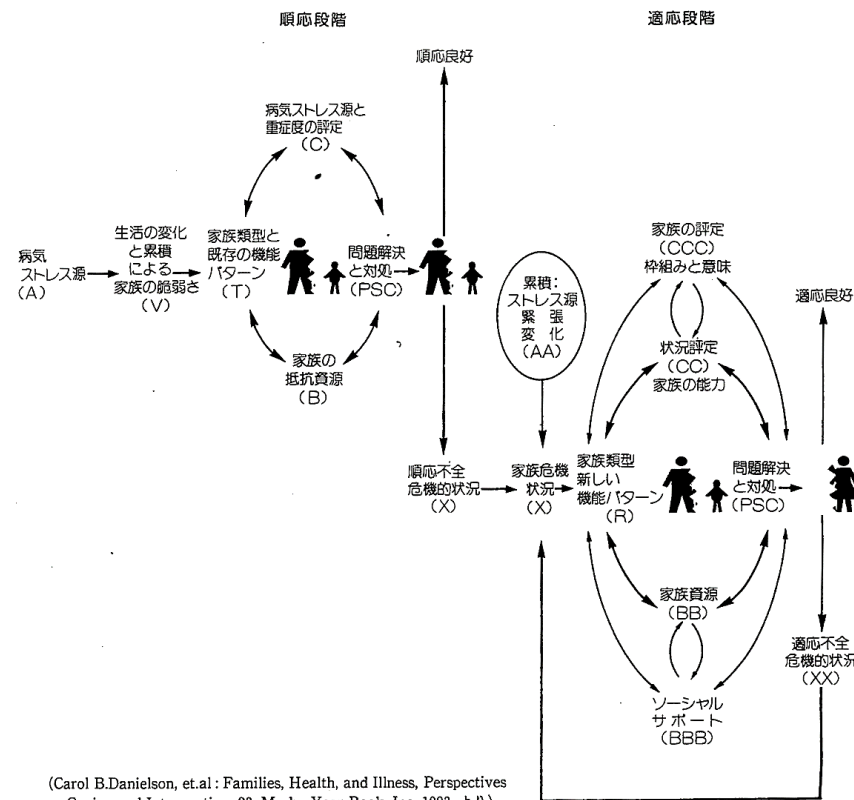
# 家族のソーシャルサポート

1. 情緒的サポート
2. 尊重・肯定的サポート
3. ネットワークサポート
4. ( ) 的サポート
5. ( ) 的サポート



森がないと 生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

# ストレス対処モデル (McCubbin,M.A)を家族看護に応用して みましょう



(Carol B.Danielson, et.al: Families, Health, and Illness, Perspectives on Coping and Intervention, 23, Mosby-Year Book, Inc, 1993, より)

図7 家族ストレス、順応、適応の回復モデル (M.A.McCubbin, 鈴木和子訳)



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

## 事 例

23歳男性、一人っ子。両親と同居し、生活費は両親と折半。

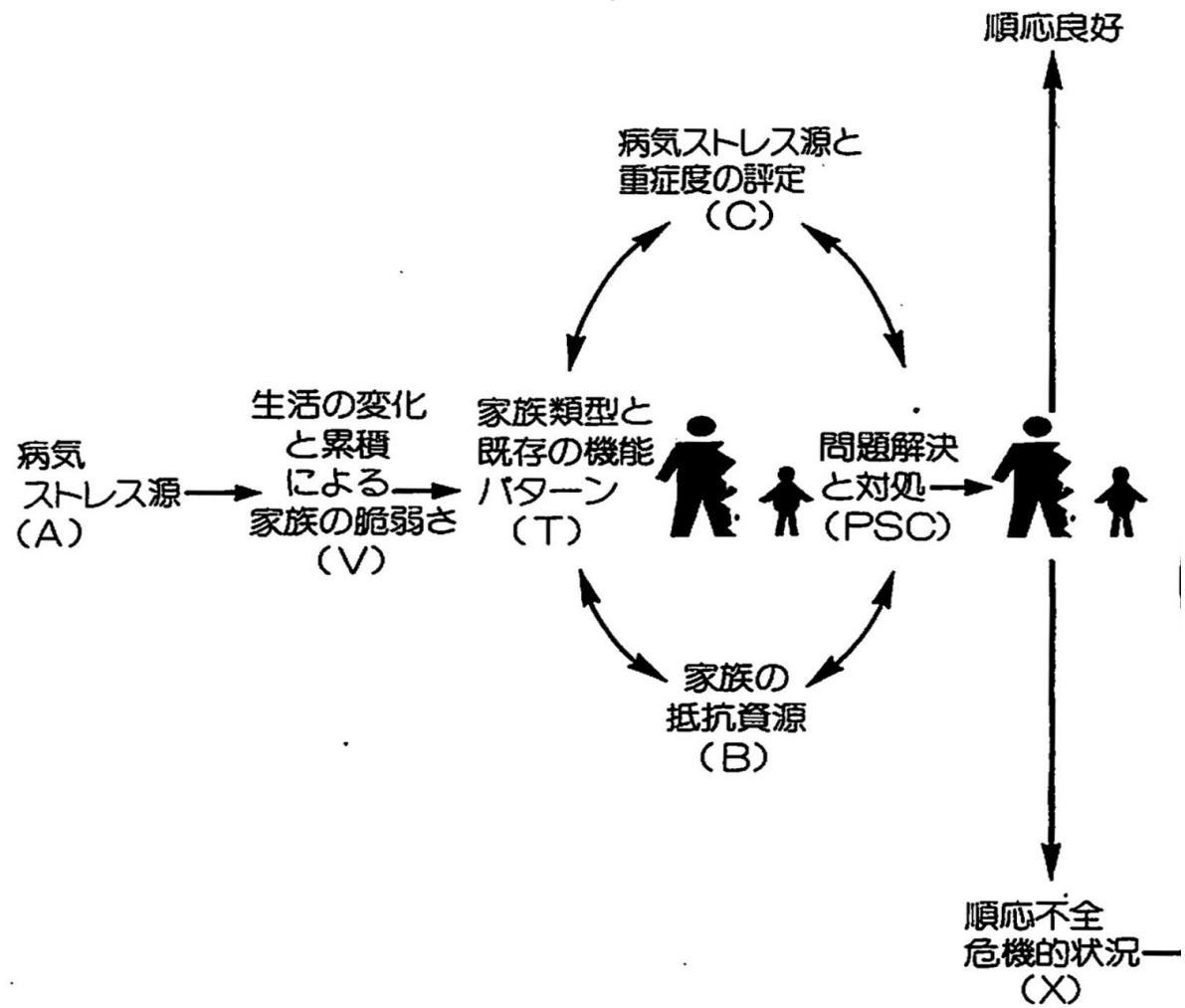
息子はオートバイの運転中、車と衝突して救急車で病院に運ばれた。脊髄損傷で、下半身麻痺と診断された。両親は最後まで望みを捨てないでいたが、時が経つにつれて息子が一生車椅子である現実を認めないわけにはいかなかった。



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。



# 順応段階



## 事例続き

一方、息子のほうも、うすうす事実気がついていたが、最後に医療チームから説明を受けたときには、息子、両親ともに大きなショックを受けた。特に母親は、息子の不幸を受け取れることができず、うつ状態となり、自分を責めはじめ、胃潰瘍による吐血をしてしまった。  
今度は、父親が母親の通院を支えることになった。息子は、1人で病院にリハビリに通いはじめた。



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

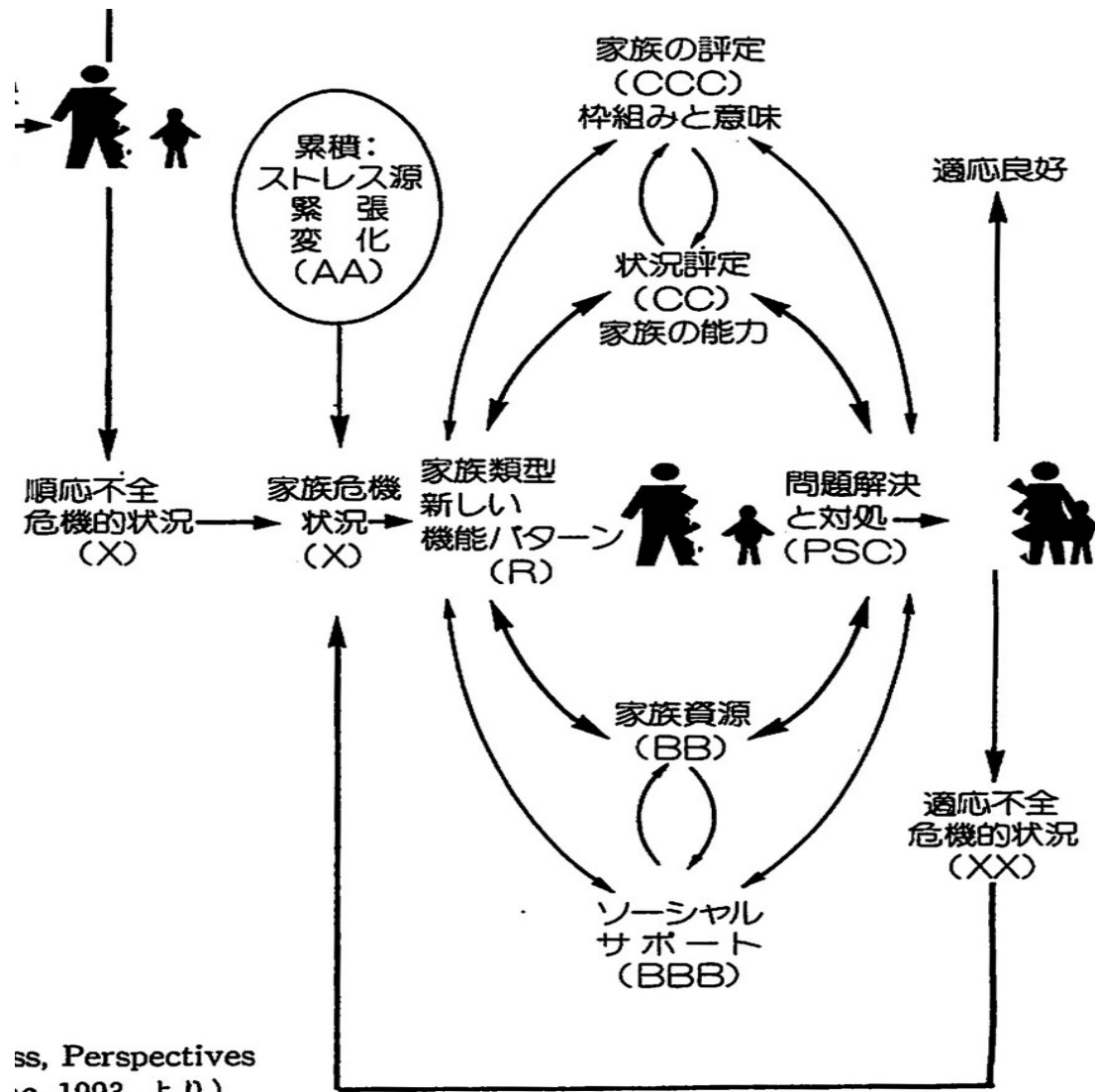


## 事例さいご

家族は、このままでは立ち直れないと考えはじめた。

母親は、身近な人や友人で、同じようなことを体験した人の助言を積極的に聞くようになった。父親も、自宅をバリアフリーに改築する準備をすすめ、新たな生活設計に着手した。

息子は、車椅子での社会復帰を目指し、同じような下半身麻痺で生活する患者会に連絡し、退院後の生活行動の自立を目指すことにした。



ss, Perspectives  
ic, 1993, より)

# きょうだいへの影響



森がないと生きていけないよ。ふたも、ひとも。



父親、母親  
きょうだい



病児 →  
外来通院

病児 →  
病院に入院

病児 +  
母親の付き添い



きょうだいは  
取り残される形  
になる



森がないと 生きられないよ。ふたも、七つも。

# 長期入院している小児のきょうだい どう過ごしているのか

- 自宅で祖父母等と暮らす  
同居の場合。あるいは、一時的に祖父母が自宅に来て住むケース。
- 自宅で、父親のみ  
きょうだいが中学生くらいであるところのケースも可能。幼少期は困難。
- 祖父母宅等に一時的に引き取られて暮らす  
祖父母が働いている等である場合、このケースもある。



森がないと 生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

# 年齢によって反応は様々

妹、弟の場合・・・

「祖父母宅」に預けられる、一時保育園に入

所など環境が変わることがある。



兄、姉の場合・・・

「○○は、病気だから仕方ないんだよ」

「お兄(姉)ちゃんなんだから、我慢しないと。」

急に、重い役割期待を背負うことになる。



# 心身への影響とその特徴

1. 活気の減少
2. 偏った愛着行動
3. 生活習慣の乱れ
4. ストレス反応



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

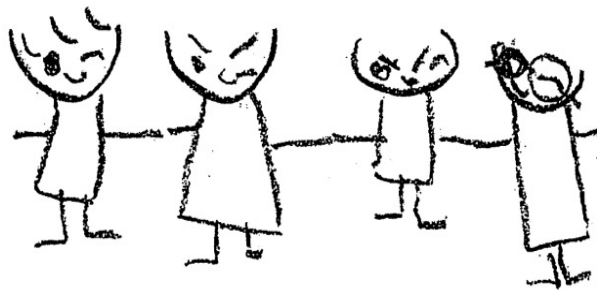
## 障害や病気をもつ人の「きょうだい」が抱えやすい問題

- 患者が、身近にいることを恥ずかしく思う
- 自分が健康に生まれたことを申し訳なく思う
- **良い子でいなければならない**と、感情を押し込める
- 病状が十分知らされず、理解できないため**家族の中で孤立**する
- **親の関心を引く**ため、非行や不登校などの問題行動を起こす
- 親が亡くなった後の介護など、**将来にわたる負担**を感じる

# きょうだいの気持ち

がんばるなっちゃん(7歳)

私もがんばってる、でも本当はさびしいの。  
誰か気づいて!



みやこちゃん  
"がぞく"

ほくは、長い間おじいちゃんの家でいた。お姉ちゃんが病気にな  
って、お母さんもいっしょに病院にいることになったから。  
お父さんは、土曜日や日曜日にときどき来てくれたけど、お母さ  
んはぜんぜん来なかった。お父さんに「お母さんに会いたい」つ  
て言ったけど、「お母さんは忙しいからだめ」と言われた。

家では、いつもお姉ちゃんがお母さんと一緒だったのに、おじい  
ちゃんちではひとりでつまらなかった。いつになったら家に帰れ  
るんだろう? お父さんに聞いたら、「ゆうくんがいい子にして  
いたら、もうすぐだよ」って言ったから、一生懸命いい子にして  
いたけど、ずうっと帰れなかった。このままずうっと帰れないの  
かな? ほくはもう家ではいらない子なのかな? ほくが悪い子だか  
らかな? って心配だった。

夜、おねしょをしちゃったとき、おばあちゃんに「赤ちゃんみた  
い」って言われた。赤ちゃんみたいだったら、もつといらない子  
になっちゃうと思って、すごく悲しかった。

たまには楽しいときもあったけど、でもやっぱり家に帰りたいかつ  
た。お母さんに会いたかった。おばあちゃんもおじいちゃんも優  
しいけど、ほくはやっぱりお父さんとお母さんの方がいい。

森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。



看護師は入院している患儿を中心にってしまう

看護師は、家族の状況や、  
きょうだいのことを含めた、  
家族看護の視点を持とう！



森がないと生きていけないよ。ふたも、ヒトも。

# きょうだいへの支援(まとめ)

1. 発達段階を考慮して、理解できる言葉で、きょうだいの病気や障害、入院の真実を伝える。
2. きょうだいにも家族の一員として、お手伝いができるようにする。出来たときは、そのつど、しっかりほめる。
3. きょうだいの気持ちが出表できるような関わる。母親と二人っきりで出かけるなどの「特別な日」をつくる。
4. 看護師は、患儿だけでなく、きょうだいの様子にも配慮し、必要に応じて上記を助言する。

